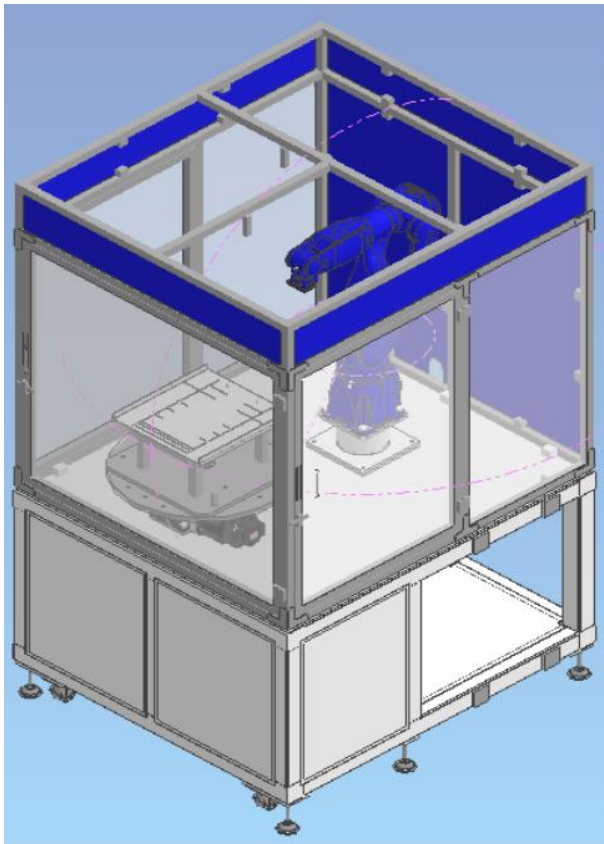


安川電機製6軸多関節ロボット：GP7を使用したバリ取りセルを開発



- 装置は、筐体にロボット・外部軸ポジショナー・コントローラを一体化することで、設備をコンパクトにまとめました。
- 外部軸ポジショナーは、加工ワークの向きを最適に制御できるため、操作性の向上と高速化を実現します。
- 従来、手作業が中心のバリ取り作業に特化した、高精度・高速型バリ取りセルで、省人化に寄与します。

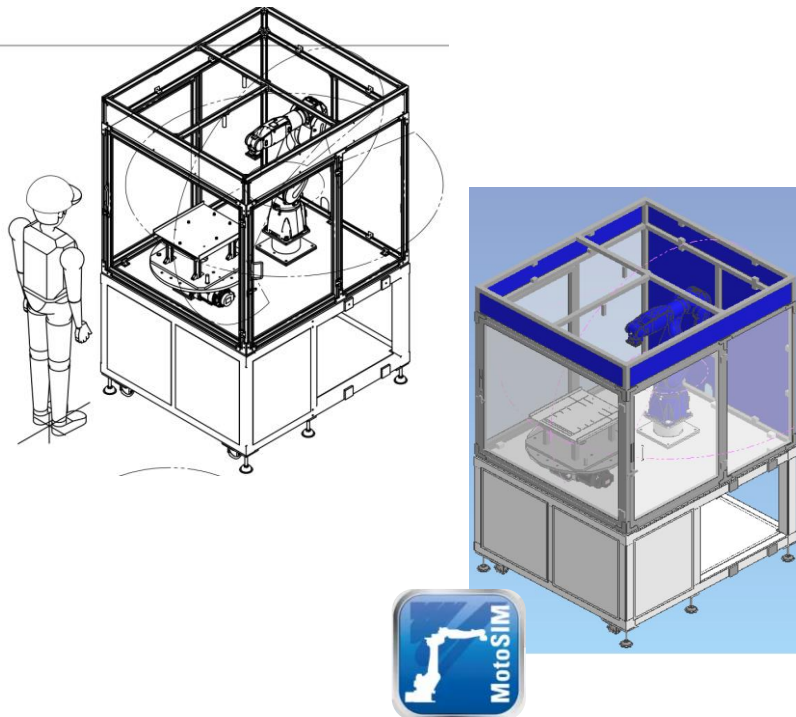


名古屋ロボデックス2020に出展した際の動画

コンパクト・高精度・高速でありながら、操作性・設備の追加・変更が容易 事前シミュレーションで、ティーチング時間も大幅短縮

【製品の特長】

- 一体フレーム構造のため、移設が簡単で、搬送による位置ズレが減少
- 設備のサイズ、主軸仕様、希望ツールの対応など、フルカスタムに対応
- 安川電機製シミュレーションソフト「MOTOSIM」を併用することで、ティーチング時間の短縮も可能
- 製品セット治具・クランプ治具・ツール交換等、設備の変更追加可



- 弊社の開発したバリ取りツール「MDワイヤ※」使用で、素材の弾性ラジアルフローティングも利用できます。
※「MDワイヤ」：靱性の高いワイヤ素材にダイヤモンド砥粒を電着したバリ取り専用ツールです

